

## 研究開発課題説明資料（終了課題）

### 1．課題名（期間）

既存建築の次世代対応リニューアルに関するフーズビリティ - スタディー  
（平成 14 年度）

### 2．担当者（所属グループ）

飯場正紀、楠 浩一（構造研究グループ）

### 3．背景及び目的・必要性

既存建築物に関する現状に鑑み、構造部材・間仕切壁・床等の除去による空間の拡大、耐震を主とする構造性能の向上、および地球環境負荷低減のための長寿命化や廃棄物削減といった社会の要求を同時に、かつ適切に充足するための構造リニューアル技術の開発が求められている。本技術の実現によって、既存ストックの有効活用が促進されると同時に建築に関わる地球環境負荷を大幅に低減することが可能となり、ひいては国家レベルの経済効果と豊かで余裕のある国民生活を実現することが期待される。

### 4．研究開発の概要・範囲

既存建築ストックの空間拡大・性能向上・環境調和型改修技術の開発のためのフーズビリティ - スタディーを以下の項目に着目して行う。

- 既存建築ストックのリニューアルに対するニーズの調査
- 長寿命化&空間拡大化&高構造性能化を成立させる解体・改修技術の調査
- モデル建物によるリニューアルのイメージとそれに要するコストの試算
- 研究計画の策定

### 5．達成すべき目標

以下を踏まえた研究計画の策定

- (ア)既存建築ストックのリニューアルに対するニーズ
- (イ)次世代対応リニューアル技術によって達成される長寿命化&空間拡大化&高構造性能化の具体的なイメージ
- (ウ)長寿命化&空間拡大化&高構造性能化を成立させる解体・改修技術

### 6．研究開発の成果

リニューアル市場と既存ストック動向調査， 国内外のリニューアル実施例， リニューアルにおける法令面・制度面・計画面・構造面の基本的考え方， 事務所→集合住宅， 集合住宅→集合住宅リニューアル例および ライフサイクルコストを考慮したリニューアルコストの検討，をまとめた報告書を作成した更に，平成 15 年度にスタートする本課題の 3 年間の研究計画を策定した。